



The Japanese Society for Environmental Education

一般社団法人日本環境教育学会 第30回年次大会（山梨）

## 公開企画のご案内

※★印のみ有料、◎申込不要

※昼食ご持参ください。

本大会参加も歓迎です！学会HPより  
→<http://www.jsfee.jp/members/meeting/367>

### 教員ワークショップ ★

8月24日（土） 9:15～13:45

#### ①KP法とえんたくんのスキル講習

内容：KP法とえんたくんの開発者である、日本環境教育フォーラム理事長の川嶋直さんから、直接この2つのスキルを学ぶワークショップです。

KP法は「紙芝居プレゼンテーション法」の頭文字をとったもの。コピー用紙にキーワードを書き、黒板やホワイトボードに10数枚の用紙を貼りながら十数分でプレゼンテーションをしてゆく手法です。2013年に「KP法～シンプルに伝える紙芝居プレゼンテーション」（川嶋直著）が出版され、全国の学校や様々な場面で使われている。プレゼンテーション手法であると同時に思考整理の手法です。

えんたくんは2013年11月に清里の清泉寮で開催された「日本環境教育フォーラム清里ミーティング2013」で誕生したコミュニケーションツール。直径1/2の分厚いダンボール板を円座に座った4～6名の膝に載せ、同じ直径のクラフト紙に話されたキーワードを書きながら対話してゆく方法です。いずれも教室で教科を問わず使えるこの2つの方法を、実習を通して学びます。 定員 40人

講師：川嶋直（日本環境教育フォーラム理事長）

#### ②SDGsを考えるワークショップ

「SDGs×LEGO：わたしとSDGsをつなぐ、はじめの1歩」

2015年9月に国連の「持続可能な開発サミット」で採択された持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）は、今後の企業活動や教育分野において重要なトピックスです。本プログラムは、この難しいSDGsの世界観を、レクチャーとレゴによって、楽しみながら体感し、一人一人の気付きと学びを深めるプログラム デザインになっています。

ワークショップでは、レゴ®シリアスプレイ®というメソッドを活用したワークと対話を通してレクチャーのリフレクション（ふりかえり）をすることで、「つながり」から様々な課題を複眼的に捉え直し、SDGsの実現に向けて歩みを進めるきっかけとしたいと考えます。

詳細 <http://june.gr.jp/sdgs/> 定員 30人

講師：井澤友郭（こども国連環境会議推進協会 事務局長）

参加費：1,000円 ①・②とも

申込： [hokutokannkyou2019@yahoo.co.jp](mailto:hokutokannkyou2019@yahoo.co.jp)

（山梨環境教育小中学校研究会：TEL 0551-22-0540）

### 公開シンポジウム ◎

8月24日（土） 14:00～16:30

#### 「環境教育とは生き方の提案」

基調講演：今泉吉晴

（都留文科大学名誉教授/動物行動学者）

世界経済は、人と野生動物に異変をもたらした。都市公園には人を避けない野生動物が出現し、人との交流が常態となった。一方で動物園の野生動物が常動行動などの非適応を多発させている。動物行動学などの科学は現象を把握するだけで、解答は示せない。環境教育とは、ヒトという生物種の成員である一人一人が、自然と社会との交流を通して自己形成していく日々からえた解決策の提案である。古代の哲学者からソロー、シートン、論理実証主義者まで、通覧を試みる。

#### 全員参加型フリップ方式パネルディスカッション

「環境教育これからの30年を考える」

パネラー：

中村和彦（日本環境教育学会事務局長

東京大学大学院農学生命科学研究科 助教）

二ノ宮リムさち（東海大学 准教授）

能條歩（北海道教育大学岩見沢校 環境教育学研究室教授）

原賀いずみ（北九州インタープリテーション協会代表）

### 環境教育メッセ ◎

8月24日・25日 9:00～16:00

環境教育に関する商品や資料の展示、販売の他、各学校・団体・地域NPO・企業等の取組をご紹介  
★出展団体募集：1ブース（5,000円） 7/6 締切  
出展申込は [yamanashi2019@jsfee.jp](mailto:yamanashi2019@jsfee.jp)

●会場：北杜市立甲陵高等学校（JR長坂駅より徒歩15分、中央道長坂ICより車で5分）

〒408-0021 山梨県北杜市長坂町長坂上条2003

●主催：一般社団法人日本環境教育学会（第30回年次大会実行委員会）

●協力：北杜市教育委員会、北杜市立甲陵高等学校

●後援：文部科学省、環境省、経済産業省、国土交通省、農林水産省、山梨県、北杜市、山梨県教育委員会、韮崎市教育委員会、ESD活動支援センター、関東地方ESD活動支援センター

## 小中学生環境教育等発表大会

8月25日(日) 9:00~11:30

令和の時代が幕をあけました。さらに持続可能な時代を開発するために地球規模で環境問題を考え、発信できる発表大会をめざしています。

小学生・中学生の皆さんが、日常生活での疑問から調べたこと、学校で継続的に調査研究したこと、授業やクラブで学びを発展させたこと、どんなスタイルでもかまいません。環境問題について自由な研究を発表し、発表からアクションを起こしましょう。

### ◇発表者の募集(10題目・発表時間15分)

①個人研究でも、集団研究でも構いません。山梨県内の小中学生の調査・研究とします。

②発表スタイルは、模造紙・パソコン・写真等自由

申込：[hokutokannkyou2019@yahoo.co.jp](mailto:hokutokannkyou2019@yahoo.co.jp)

(山梨環境教育小中学校研究会)

〆きり：7月31日(応募用紙にて提出)

### ◇参加者の募集(定員200人)

①小学生から大人まで幅広い層の皆さんが対象

②質疑という形で発表会に参加可能

③発表データは冊子にして配布予定

## 小中学校の教員実践交流大会

8月25日(日) 11:45~13:45

ESD教育で、県内各校が一番実践しているのは環境に関する教育です。教科指導・総合的な学習の取り組み・児童会や生徒会活動・学校行事等で、先生方が個人やチームとして指導実践した内容を共有し、情報交換する場として交流大会を開催します。

### ◇発表者の募集(6題目・発表時間20分)

①個人研究でも、集団研究どちらも可

②発表スタイル・形式は自由

申込：[hokutokannkyou2019@yahoo.co.jp](mailto:hokutokannkyou2019@yahoo.co.jp)

(山梨環境教育小中学校研究会)

〆きり：7月31日(応募用紙にて提出)

### ◇参加者の募集(定員150人)

①教員に限定せず幅広い皆さんが参加可能

②質疑という形で発表会に参加可能

③発表データは冊子にして配布予定

## 山梨県高校生特別研究発表会

8月24日(土) 9:00~13:45

県内のSSH校、SGH校、SPH校はもとより、多くの高校生の参加を期待しています。

内容：学会員の口頭発表に並行して、県内高校生の成果研究発表を行います。県内高校に広く呼びかけ、生徒相互の研究成果の発表を行います。各発表後には、質疑応答の時間と学会の研究者から講評をいただき、今後のさらなる研究につなげて欲しいと願っています。また、同時に行われるポスター発表にも研究成果を掲示することができます。多くの方が来場されますので、ポスター発表力も向上させることができます。(最大10本の発表を予定)

申込：[masu@yamanashi-koryo-h.ed.jp](mailto:masu@yamanashi-koryo-h.ed.jp) (増淵)

## エクスカーション ★

### A-1 冒険教育プログラム体験

8月23日(金) 13:00~15:00

グループで課題に挑戦し、「協力」「信頼」を、体験を通じて学ぶ体験プログラム。

場所：北杜市長坂町日野春 国際自然大学校

申込：[hinoharu@nots.gr.jp](mailto:hinoharu@nots.gr.jp)

参加費：1000円

### B-1 キープ協会施設見学

8月26日(月) 9:00~11:30

森の中の保育園、宿泊型研修施設：自然学校とその周辺自然歩道、八ヶ岳自然ふれあいセンター、清泉寮やまねミュージアムを視察見学。

場所：北杜市高根町清里 (公財)キープ協会

申込：[forester@keep.or.jp](mailto:forester@keep.or.jp) 参加費：500円

### B-2 自然体験型環境教育プログラム体験

8月26日(月) 13:00~15:00

五感と科学を通して自然と向き合い、自然からの気づきを分かち合うキープ協会のプログラム体験。

場所：北杜市高根町清里 (公財)キープ協会

申込：[forester@keep.or.jp](mailto:forester@keep.or.jp)

参加費：1000円